

クルーズ船誘致について（他自治体との連携状況）

1 関門連携

○目的

関門港（北九州港、下関港）は4つのクルーズ船受入岸壁を有する。

小・中型船から大型船まで寄港可能な岸壁がバスで90分圏内に4つもあるのは、関門港の大きな魅力の一つであり、接岸時間の限られたクルーズ乗船客にとっては、その多彩な観光地を相互に効率よく周遊できるというメリットがある。

そこで、下関市と連携を図りながら、関門エリアでのクルーズ船誘致、観光商品の造成に繋げるため、関門港の魅力について対外的に情報発信を行うもの。

○事業概要

事業名 : 関門海峡都市・観光まちびらき連携事業
事業期間 : 平成29～32年度（予定）
事業費 : 平成29年度 8,340千円（地方創生推進交付金を活用）

○事業内容

- (1) 中国・上海でクルーズ船誘致セミナーを開催（平成29年11月29日）。
本市上海事務所、JNTO（日本政府観光局）等とも連携した集客活動を行い、現地のクルーズ船社、チャーター（クルーズ船をチャーターする中国の大手旅行社）が多数参加した。
- (2) 関門港をPRするための動画作成

2 日本海・瀬戸内（青森港、金沢港、境港、神戸港、北九州港）5港連携

○目的

海外船社を対象にクルーズ船の誘致を推進するには、日本の複数の港が連携することで一層の集客を図ることができるため、本市では平成27年度より青森港、金沢港、境港、神戸港と連携した海外でのプロモーション活動を実施している。

○事業概要

事業名 : 日本海・瀬戸内5港湾連携事業
事業期間 : 平成27年度～
事業費 : 平成27年度 330千円（英国・ロンドン）
平成28年度 470千円（米国・マイアミ）
平成29年度 560千円見込み（独国・ハンブルク）

○事業内容

毎年、各国・都市の在日本総領事公邸等を活用し、クルーズ船社及び旅行会社を対象としたセミナーを開催している。

本事業を通じて、ラグジュアリー船の「アザマラ・クエスト（3万トン級）」による5港を回る日本周遊コースが決定（平成31年度 門司に3回寄港予定）するなど、一定の成果が出ている。

今年度は、主に欧州の主要なクルーズ船社が集まるドイツ・ハンブルクにおいて、シートレード（クルーズ見本市）への出展にあわせセミナーを開催した（平成29年9月8日）。

クルーズセミナーin 上海

- 1 日 時 平成 29 年 11 月 29 日 (水) 13:30~16:30
- 2 会 場 上海花園飯店 (中華人民共和国 上海市)
- 3 参加結果 30 名 (船社 9 名・中華系旅行社 21 名)
- 4 実施写真



JNTO 上海事務所長による開会あいさつ



北九州港プレゼン



下関港プレゼン



個別商談会



自由交流の様子



お楽しみ抽選会

クルーズセミナー in ハンブルク及びシートレード・ヨーロッパ2017

●クルーズセミナーin ハンブルク

- 1 日 時 平成 29 年9月8日（金） 14:30~17:00
- 2 会 場 在ハンブルク日本国総領事公邸（独国・ハンブルク）
- 3 参加結果 11名（船社9名・旅行社等2名）

●シートレード・ヨーロッパ2017 共同出展

- 1 日 時 平成 29 年9月6日（水）～8日（金）
- 2 会 場 ハンブルクメッセ（独国・ハンブルク）

●実施写真



在ハンブルク日本国総領事による開会挨拶



北九州港プレゼン



自由交流の様子



地元特産品のふるまい



シートレード会場での個別商談



日本海・瀬戸内5港関係者